



津久見市 学校施設長寿命化計画

2021年3月
(2026年4月改訂)



目次

1.学校施設の長寿命化計画の概要	
(1)計画の目的	1
(2)計画の位置づけ	1
(3)計画期間	1
(4)対象施設	1
2.学校施設の目指すべき姿	
(1)安全性	3
(2)快適性	3
(3)学習活動への適応性	3
(4)環境への適応性	3
(5)地域への拠点化	3
3.学校施設の状況	
(1)学校施設の保有量	4
(2)評価方法	5
(3)評価結果	6
4.学校施設の基本的な方針	
(1)学校施設の長寿命化計画の基本方針	8
(2)今後の維持・更新コストの把握(長寿命化型)	9
(3)改修等の基本的な方針	10
5.長寿命化の実施計画	
(1)小学校・(2)中学校	11
(3)休校・(4)廃校	12
6.長寿命化計画の継続的運用方針	
(1)情報基盤の整備と活用	13
(2)推進体制等の整備	13
(3)フォローアップ	13

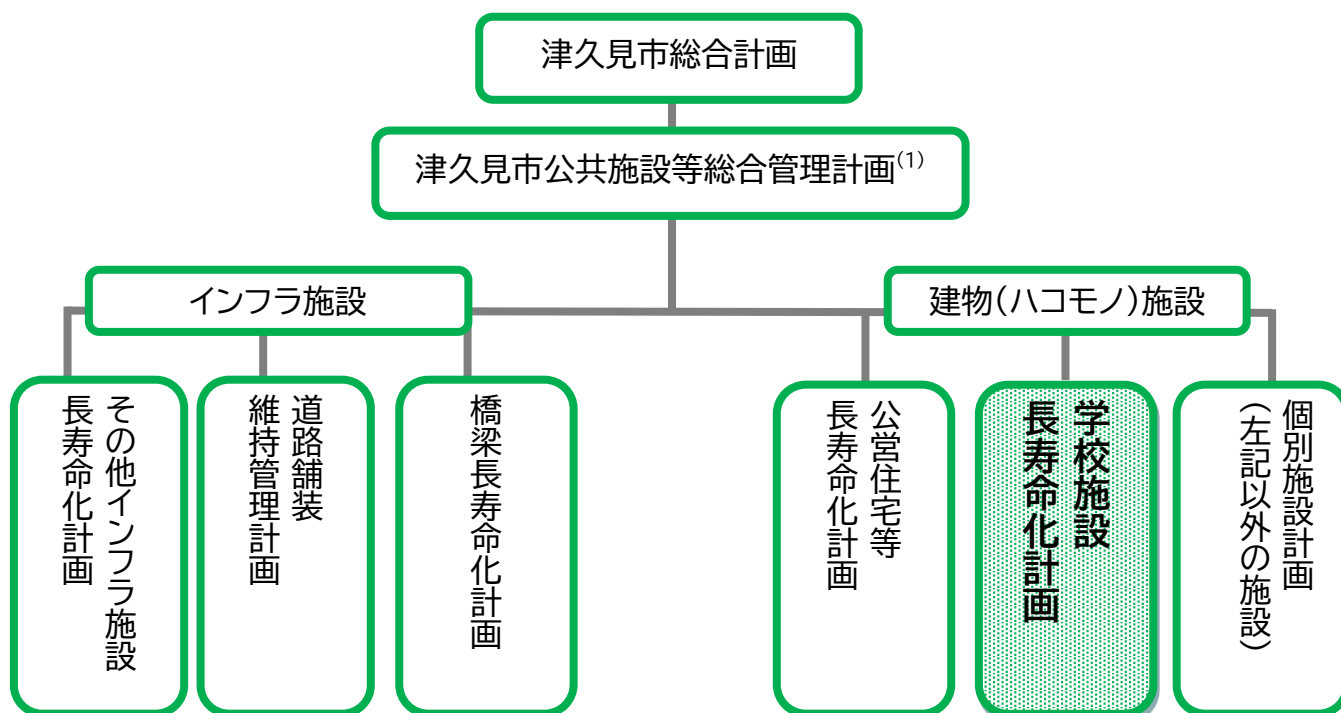
1. 学校施設の長寿命化計画の概要

(1) 計画の目的

「津久見市学校施設長寿命化計画」(以下、本計画)は、学校施設の老朽化の状況等を把握した上で、本市の学校施設としてあるべき姿を検討し、限られた財源の中で、将来に渡って適切な維持管理を行うために本計画を策定しました。

(2) 計画の位置づけ

本計画の位置づけは以下の通りです。



(3) 計画期間

公共施設等総合管理計画では、2016年度から2055年度の40年間を計画期間としています。本計画では、策定後の2021年度から2030年度までの10年間を計画期間とし、5年ごとに中間の見直しを、必要に応じて行います。

(4) 対象施設

公共施設等総合管理計画に掲げる建物のうち、学校施設を本計画の対象施設としますが、延床面積200㎡未満の屋外トイレ、部室、倉庫、プール更衣室等の建物は、基本的に対象外としています。また、今後の計画に関わる施設は、対象施設としています。

※対象施設の内訳については2ページの対象施設一覧を参照。

■対象施設一覧

施設名称		住所	建物名称	建築年度 ※1	延床面積(m ²) ※2	備考
小学校	1 長目小学校	津久見市大字長目1698番地	校舎	1963	949	2004年度堅徳小学校に 統合済み
			体育館	1992	528	
	2 堅徳小学校	津久見市大字堅浦3の1番地	体育館	1980	600	
			校舎(給食室含む)	1985	1,585	
			校舎	2009	583	
	3 青江小学校	津久見市大字上青江3537番地	給食室	1980	140	
			校舎1	1984	1,784	
			校舎2	2014	715	
			体育館	2015	612	
	4 津久見小学校	津久見市立花町1番7号	校舎1	1978	1,186	
			校舎2	1988	893	
			校舎3	1988	967	
			体育館	1995	1,000	
			給食室	1989	150	
			校舎4	2004	1,123	
	5 千怒小学校	津久見市大字千怒1400番地	校舎1	1978	1,350	
			校舎2	1988	622	
			校舎3	1988	454	
			体育館	1995	617	
	6 日代小学校	津久見市大字網代1535番地の2	校舎	1972	1,150	2008年度千怒小学校に統 合済み
7 越智小学校	津久見市大字四浦5893番地の2	校舎(四浦東中学校校舎含む)※3	1981	1,100	2014年度千怒小学校及び 第一中学校(津久見中学 校)に統合済み	
8 保戸島小学校	津久見市大字保戸島21番地の2	職員住宅2	1979	300		
		校舎1	1982	498		
		校舎2	2000	1,184		
		給食室	2000	196		
9 無垢島小学校	津久見市大字長目2648番地の2	校舎(無垢島中学校校舎含む)※3	1977	500		
中学校	1 津久見中学校	津久見市文京町1番6号	体育館(学校給食共同調理場含む)	2012	2,118	
			校舎1	1980	3,521	2023年度長寿命化改修実施済み
			校舎2	2023	953	
			学校給食共同調理場2	2024	297	
	2 第二中学校	津久見市元町11番29号	体育館	1978	999	2024年度第一中学校と統 合済み(津久見中学校)
			校舎1	1986	1,887	
			給食室	1994	124	
	3 日代中学校	津久見市大字網代1538番地の7	校舎2	2015	1,029	
			校舎	1955	1,006	2008年度第一中学校(津久 見中学校)に統合済み
	4 保戸島中学校	津久見市大字保戸島21番地の36	体育館	1961	446	
			校舎	1977	840	
			校舎	2008	564	

※1※2 学校施設台帳⁽²⁾上の登録値を記載。

※3 対応する施設同士が小中共同利用の建物を含む。

2. 学校施設の目指すべき姿

(1)安全性

児童生徒が安全・安心に利用できる学校施設を目指します。

また、学校施設は災害時の避難場所として、台風・地震などの災害に強く、防災機能を備えた施設である必要があります。

防犯・事故対策の観点から防犯設備の導入、危険箇所のフェンス設定など、安全性の向上を目指します。

(2)快適性

児童生徒の健康を守るための冷房施設の完備のほか、学習能率向上に寄与する快適な学習環境を整えます。また、施設・設備等のユニバーサルデザイン化を目指します。

(3)学習活動への適応性

高度情報化に対応し、学習効果を高めるためのICT⁽³⁾環境の充実を図ります。

さらに、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、必要な支援を行う特別支援教育に対応した環境整備を図ります。

(4)環境への適応性

地球環境に配慮し、持続可能な社会の実現のため、自然エネルギーの利用や校内緑化の推進等を進めます。

(5)地域への拠点化

児童生徒の学習の場であることを第一としながらも、児童生徒数の推移を踏まえながら、学童保育や地域の生涯学習の場として、学校施設を利用することを検討します。

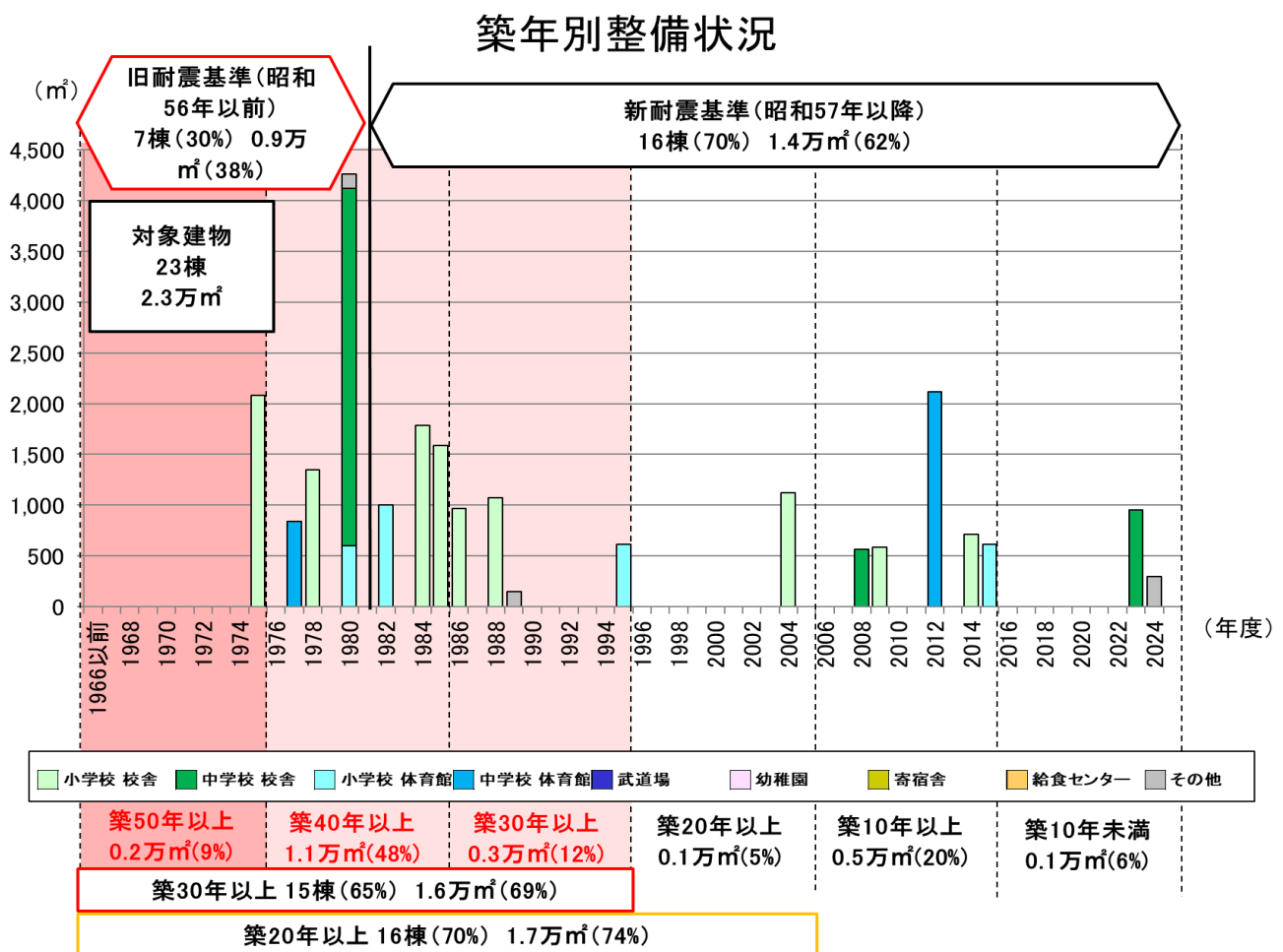
3. 学校施設の状況

(1) 学校施設の保有量

今後の実施計画において更新の対象となる建物(休校施設を除く)は 23 棟あり、総延床面積は約 2.3 万㎡となっています。1970 年代から 1980 年代にかけて集中して整備された、築 30 年以上経過している学校施設が 15 棟あり、延床面積で全体の約 69%を占めています。

旧耐震基準(1981 年 6 月以前)で整備された建物は 7 棟あり、延床面積で全体の約 38 %になりますが、学校の用途として運営している建物(休校施設を除く)については、2015 年度までに全て耐震補強を完了しています。

< 築年別整備状況 >



※津久見中学校体育館・共同調理場を集計上「中学校 体育館」に含む(同一建物のため)
面積内訳:体育館分 1035 ㎡ 共同調理場部分 1083 ㎡

(2) 評価方法

建物ごとの屋根・屋上、外壁、設備機器等の劣化状況や改修時期を、劣化状況調査票を用いて把握し、下記の内容 A、B、C、D の 4 段階で評価します。

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化 D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

経過年数による評価 【内部仕上げ、電気設備、 機械設備】

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
劣化 D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

健全度の算定

健全度とは各建物の 5 つの部位について劣化状況を 4 段階で評価し、100 点満点で数値化した評価指数である。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を 100 点満点で算定する。なお、②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の 7%分を、屋根・屋上、外壁に案分して設定している。

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

(右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例)

	評価	評価点	配分	
1 屋根・屋上	C	40	5.1	= 204
2 外壁	D	10	17.2	= 172
3 内部仕上げ	B	75	22.4	= 1,680
4 電気設備	A	100	8.0	= 800
5 機械設備	C	40	7.3	= 292
計 3,148				
÷ 60				
健全度				52

文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」より

(3) 評価結果

対象施設の評価結果は、下記のとおりです。

■小学校

評価年2025年度(2026年3月31日時点)

建物基本情報									構造躯体の健全性					劣化状況評価						
通し 番号	休校 区分	施設名	建物名	構造	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
						西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/mm)	試算上 の区分						
1		堅徳小学校	体育館	S	600	1980	S55	45	旧	済	済	2012	24	長寿命	B	C	A	A	A	81
2		堅徳小学校	校舎(給食室含む)	RC	1585	1985	S60	40	新					長寿命	C	C	B	B	B	62
3		堅徳小学校	校舎	RC	583	2009	H21	16	新					長寿命	A	B	A	A	A	93
4		青江小学校	給食室	RC	140	1980	S55	45	旧					要調査						未
5		青江小学校	校舎1	RC	1784	1984	S59	41	新					長寿命	C	C	B	B	B	62
6		青江小学校	校舎2	RC	715	2014	H26	11	新					長寿命	A	A	A	A	A	100
7		青江小学校	体育館	RC	612	2015	H27	10	新					長寿命	A	A	A	A	A	100
8		津久見小学校	校舎1	RC	1186	1975	S50	50	旧	済	済	2007	17.6	長寿命	B	D	D	D	D	16
9		津久見小学校	校舎2	RC	893	1975	S50	50	旧	済	済	2007	17.6	長寿命	B	D	D	D	D	16
10		津久見小学校	校舎3	RC	967	1986	S61	39	新					長寿命	D	C	C	C	C	37
11		津久見小学校	体育館	S	1000	1982	S57	43	新					長寿命	C	D	C	C	C	31
12		津久見小学校	給食室	S	150	1989	H1	36	新					要調査						未
13		津久見小学校	校舎4	RC	1123	2004	H16	21	新					長寿命	B	B	A	A	A	91
14		千怒小学校	校舎1	RC	1350	1978	S53	47	旧	済	済	2007	17.6	長寿命	D	D	D	D	D	10
15		千怒小学校	校舎2	RC	622	1988	S63	37	新					長寿命	B	B	B	B	B	75
16		千怒小学校	校舎3	RC	454	1988	S63	37	新					長寿命	B	B	B	B	B	75
17		千怒小学校	体育館	S	617	1995	H7	30	新					長寿命	B	B	B	B	B	75
18	休校	保戸島小学校	職員住宅	RC	300	1979	S54	46	旧					長寿命	C	D	C	D	D	24
19	休校	保戸島小学校	校舎1	RC	498	1982	S57	43	新					長寿命	D	D	D	C	C	18
20	休校	保戸島小学校	校舎2	RC	1184	2000	H12	25	新					長寿命	D	C	A	B	A	72
21	休校	保戸島小学校	給食室	RC	196	2000	H12	25	新					要調査						未
22	休校	無垢島小学校	校舎	RC	500	1977	S52	48	旧	済	耐	2009	22	長寿命	B	C	C	D	D	35

R…鉄筋コンクリート造

S…鉄骨その他造

W…木造

未…未評価

耐…耐震性あり

2015年度までに全て耐震補強完了

(休校中の施設を除く)

 : 築50年以上

 : 築30年以上

A : 概ね良好

C : 広範囲に劣化

B : 部分的に劣化

D : 早急に対応する必要がある

■中学校

評価年2025年度(2026年3月31日時点)

建物基本情報									構造躯体の健全性					劣化状況評価						
通し 番号	休校 区分	施設名	建物名	構造	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
						西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上 の区分						
23		津久見中学校	校舎1	RC	3521	1980	S55	45	旧			2009	25	長寿命	A	A	A	A	A	100
24		津久見中学校	校舎2	S	953	2023	R5	2	新					長寿命	A	A	A	A	A	100
25		津久見中学校	体育館(共同調理場含む)	RC	2118	2012	H24	13	新					長寿命	A	B	A	A	A	93
26		津久見中学校	共同調理場2	W	297	2024	R6	1	新					長寿命	A	A	A	A	A	100
27		保戸島中学校	体育館	RC	840	1977	S52	48	旧	済	済	2009	22	長寿命	D	C	C	D	D	30
28		保戸島中学校	校舎	RC	564	2008	H20	17	新					長寿命	D	B	A	B	A	82

R…鉄筋コンクリート造

S…鉄骨その他造

W…木造

未…未評価

耐…耐震性あり

2015年度までに全て耐震補強完了
(休校中の施設を除く)

■ : 築50年以上 ■ : 築30年以上

■ : 概ね良好 ■ : 広範囲に劣化

■ : 部分的に劣化 ■ : 早急に対応する必要がある

一部の200㎡未満の建物については、本計画対象外のため記載していませんが、必要に応じて劣化診断を実施予定です。

【劣化診断結果 部位別集計】

判定	屋根・屋上		外壁		内部仕上		電気設備		機械設備	
	棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率
A	7	28.0%	5	20.0%	11	44.0%	9	36.0%	11	44.0%
B	8	32.0%	7	28.0%	5	20.0%	7	28.0%	5	20.0%
C	4	16.0%	7	28.0%	5	20.0%	3	12.0%	3	12.0%
D	6	24.0%	6	24.0%	4	16.0%	6	24.0%	6	24.0%

4. 学校施設の基本的な方針

(1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

<p>公共施設等総合管理計画の基本方針</p>	<p>①市民ニーズに応じた施設総量の抑制 ②老朽化した施設の長寿命化を推進</p>
<p>公共施設等総合管理計画の施設類型別方針 【学校・教育系施設】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、学校として運営を行っている小中学校については、今後、点検・修繕を計画的に行い、長寿命化を図ります。今後の建替え時期は、児童・生徒数や地域の状況を勘案しながら、統合も視野に、検討していきます。 ・休校施設については、利用可能性を検証し、学校施設としての利用が困難な施設について、廃校手続の検討を行います。 また、廃校となった施設は、まとまったスペースを確保できることから、地区と協議のうえ、機能転換による利用や施設の複合化、民間による活用等も視野に、検討を行っていきます。 ・老朽化等に伴い、取壊しが必要な施設については、財政状況を考慮しながら計画的に取壊しを進め、地区との協議を行いながら、その後の土地利用を検討していきます。



<p>学校施設の長寿命化計画の基本方針</p>	<p>【長寿命化の推進】 大規模な改修を行う前に躯体の健全性調査を実施し、良好（圧縮強度 13.6N/mm²以上）であれば長期に使用することとし、目標耐用年数を 60 年（鉄筋コンクリート造の一般的な耐用年数は 50 年以上※）とします。躯体の健全調査結果が良好の場合には、80 年以上使用します。</p> <p>【施設保有量の最適化】 老朽化している施設、児童生徒数が減少している施設については、通学区の見直しを行い、統廃合の検討を行います。また、教育と保育の住民ニーズの観点から幼保連携型認定こども園を新設するなど、地域の実情に合わせ、多機能を集約した施設整備も検討します。</p>
-------------------------	--

※「期待耐用年数の導出及び内外装・設備の更新による価値向上について」
（国土交通省 平成 25 年 8 月）より

(2)今後の維持・更新コストの把握(長寿命化型)

下記の5つを基本方針として検討します。

1.「現状の規模や機能を維持する学校」

将来的にも児童生徒数が維持されると見込まれる学校施設については、今後も現状の規模や機能の維持を継続して行います。児童生徒数が減少すると見込まれる施設でも、通学区の再編が困難な場合は、現状の維持を行います。この場合、空きスペースの有効活用を検討します。

2.「現状の規模や機能を維持しつつ、他の公共施設等との複合化・共有化を検討する学校」

児童生徒数が減少すると見込まれる学校施設で、築年数が浅く、劣化状況等が健全な施設については、住民の要望に応じて、土地の地権者と協議し、文教施設や高齢者福祉施設等の公共施設等との複合化・共有化を検討します。

3.「統合等を検討する学校」

児童生徒数が減少すると見込まれる学校施設で、劣化状況等が健全でない施設については、通学区の再編を行い、近隣の学校施設との統合を検討します。

取壊しが必要な施設については、財政状況を考慮しながら計画的に取壊しを進め、地区や土地の地権者との協議を行いながら、その後の土地利用を検討します。

4.「休校施設・廃校施設」

休校施設については、学校施設としての利用可能性を検証し、利用が困難な施設は、廃校の検討を行います。

廃校となった施設は、老朽化の状況次第では財政状況を考慮しながら計画的に解体を進めるとともに、地区や土地の地権者と協議のうえ、機能転換による利用や施設の複合化、民間による活用等も視野に、検討を行っていきます。

また、避難所に指定されている施設については、修繕対応を行っていきます。

5.「教職員住宅」

教職員住宅については、施設の更新を行わず、維持管理のみを行いながら、解体または用途転用を検討します。

(3)改修等の基本的な方針

下記の 2 つを基本方針として検討します。

1.長寿命化の方針

中長期的な維持管理にかかるトータルコストの削減、予算の平準化を実現するために、下記に示すような建物を除き、長寿命化改修を実施します。

- ・鉄筋コンクリートの劣化が激しく、改築した方が安価となる建物
- ・コンクリート強度が著しく低い建物(13.5N/mm²)以下
- ・基礎の多くの部分で鉄筋が腐食している建物
- ・校地環境の安全性が欠如している建物
- ・建物の配置に問題があり、長寿命化改修によっては適切な教育環境を確保できない建物
- ・学校施設の適正配置など地域の実情により、長寿命化改修せざるを得ない建物

文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」より

2.目標使用年数、更新周期の設定

鉄筋コンクリートは適切な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保されている場合は、100 年以上使用することも可能であるため、本市では目標使用年数を 80 年とし、大規模改造の周期を概ね 20 年、60 年、長寿命化改修の周期を概ね 40 年とします。

【耐用年数・更新周期の考え方】

	目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期
校舎	築 80 年	築 20 年 / 60 年	築 40 年
体育館	築 80 年	築 20 年 / 60 年	築 40 年

5.長寿命化の実施計画

今後 10 年間の実施計画は、下記のとおりです。11 年目以降の実施計画は、番号なしとしています。また、方針は、必要に応じて見直しを行います。

(1)小学校

優先順	施設名（建物名）	延床面積 (㎡)	方針※	実施予定年度
1	千怒小学校（校舎1）	1,350	長寿命化	2027年度～2028年度 長寿命化改修
	千怒小学校（校舎2）	622	長寿命化	2027年度～2028年度 長寿命化改修
	千怒小学校（校舎3）	454	長寿命化	2027年度～2028年度 長寿命化改修
2	津久見小学校(校舎1)	1,186	長寿命化	2029年度以降 長寿命化改修
	津久見小学校(校舎2)	893	長寿命化	2029年度以降 長寿命化改修
	津久見小学校(校舎3)	967	長寿命化	2029年度以降 長寿命化改修
	津久見小学校(体育館)	1,000	長寿命化	2029年度以降 長寿命化改修
	津久見小学校(校舎4)	1,123	修繕対応	2031年度以降の実施計画検討時に、 方針の再確認を行います。
	青江小学校(体育館)	612	修繕対応	
	青江小学校(給食室)	140	修繕対応	
	青江小学校(校舎1)	1,784	修繕対応	
	青江小学校(校舎2)	715	修繕対応	
	堅徳小学校(体育館)	600	修繕対応	
	堅徳小学校(校舎(給食室含む))	1,585	修繕対応	
	堅徳小学校(校舎)	583	修繕対応	
	津久見小学校(給食室)	150	用途転用	

(2)中学校

優先順	施設名（建物名）	延床面積 (㎡)	方針	実施予定年度
	津久見中学校(校舎1)	3,521	修繕対応	2031年度以降の実施計画検討時に、 方針の再確認を行います。
	津久見中学校(校舎2)	953	修繕対応	
	津久見中学校(体育館(学校給食共同調理場含む))	2,118	修繕対応	
	津久見中学校(学校給食共同調理場2)	297	修繕対応	
	保戸島中学校(体育館)	840	修繕対応	
	保戸島中学校(校舎)	564	修繕対応	

※方針

- ・長寿命化:耐用年数を超えて使用することを目的として、大規模な改修を実施すること。
- ・修繕対応:必要に応じて軽微な修繕等は実施するが、大規模な改修や建替えを実施しない。
- ・用途転用:施設の機能を変更すること。
- ・解体 :建物を解体する予定。

(3)休校

優先順	施設名（建物名）	延床面積 (㎡)	方針※	実施予定年度
	保戸島小学校(校舎1)	1,184	廃校、 用途転用、 解体の検討	今後5年間で 休校中の施設の利用可能性を検証していきます。
	保戸島小学校(校舎2)	498		
	保戸島小学校(給食室)	196		
	保戸島小学校(職員住宅2)	300		
	無垢島小学校(校舎(無垢島中学校校舎含む))	500		

(4)廃校

優先順	施設名（建物名）	延床面積 (㎡)	方針※	実施予定年度
1	長目小学校(校舎) 2004年度堅徳小学校に統合済み	949	解体	2026年度以降
	長目小学校(給食室) 2004年度堅徳小学校に統合済み	40	解体	
2	第二中学校(校舎1) 2024年度第一中学校と統合済み(津久見中学校)	1,887	用途転用	2026年度以降
	第二中学校(校舎2) 2024年度第一中学校と統合済み(津久見中学校)	1,029	用途転用	
	第二中学校(給食室) 2024年度第一中学校と統合済み(津久見中学校)	124	用途転用	
	第二中学校(体育館) 2024年度第一中学校と統合済み(津久見中学校)	999	用途転用	
3	日代小学校(校舎) 2008年度千怒小学校に統合済み	1,150	解体	2027年度以降
	日代中学校(校舎) 2008年度第一中学校(津久見中学校)に統合済み	1,006	解体	
	日代中学校(体育館) 2008年度第一中学校(津久見中学校)に統合済み	446	解体	
	長目小学校(体育館) 2004年度堅徳小学校に統合済み	528	用途転用、 解体の検討	
	越智小学校(校舎(四浦東中学校校舎含む)) 2014年度千怒小学校及び第一中学校(津久見中学校) に統合済み	1,100	用途転用、 解体の検討	

※方針

- ・修繕対応:必要に応じて軽微な修繕等は実施するが、大規模な改修や建替えを実施しない。
- ・用途転用:施設の機能を変更すること。
- ・解体 :建物を解体すること。
- ・廃校 :休校中の施設の利用可能性を検証すること。
職員住宅および給食室は、主な施設の方針に沿って対応を検討する。

6.長寿命化計画の継続的運用方針

(1)情報基盤の整備と活用

これまでは、法定点検の結果や光熱水費などの維持管理費、工事履歴を管理出来ていなかったため、今後は公共施設マネジメントシステムにて一元管理を行い、データを集積します。集積したデータは、実績値として、今後の維持管理費用の財源確保に活用します。

(2)推進体制等の整備

学校施設の所管課である教育委員会の施設担当者を中心に、本計画の実行に取り組みます。施設の長寿命化を実施するためには、学校施設の日常点検や定期点検を行い、老朽箇所や危険個所の早期発見が必要となります。そのためにも、教職員や施設担当者の知識の向上や点検業務の外部委託等の検討を行います。さらに、財政担当部署、事業担当部署などの関係部署との連携を図り、予算や工事などの調整を行います。

(3)フォローアップ

本計画は、津久見市公共施設等総合管理計画の実行計画となり、学校施設の長寿命化改修や優先順位を設定するものです。計画の推進にあたっては PDCA(Plan:計画の推進、Do:実行、Check:効果の評価・検証、Action:見直し)サイクルの考え方にに基づき、見直しを行います。

7.本計画書における用語の解説

用語	解説
(1) 津久見市 公共施設等 総合管理計画 (1 ページ)	本市にある公共施設等の全体状況を把握し、長期的視点に立った計画的施設の更新・建替え、施設配置の最適化により、財政負担の軽減・平準化を図ることを目的として 2017 年 3 月に策定された、施設マネジメント計画。
(2) 学校施設台帳 (2 ページ)	公立学校施設台帳の棟別面積表等のこと。 ※参照:学校施設の長寿命化に係る解説書
(3) ICT (3 ページ)	「Information and Communication Technology」情報や通信に関連する科学技術の総称。通信技術を基盤としたインターネット等の諸技術を指して使われることもある。



津久見市学校施設長寿命化計画

〒879-2431

大分県津久見市大友町 5 番 15 号

TEL:0972-82-9525

(津久見市教育委員会 管理課・学校教育課)